

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田 行徳	文化財について	<p>1 新しい文化財の発掘についてはどのように考えるか。また、現在、町の文化財に指定できる物はないのか。</p> <p>2 タシロカワゴケソウ、松崎砲台跡、田代猪鹿倉の日枝100年桜、河上神社の榎の大木などの中に町の指定文化財に成り得るものはないのか。</p> <p>3 磨崖仏の周りの草払いについてどの様に考えるか。</p> <p>4 町民の多くに、町の指定文化財を知らしめる為の方策は考えられないか。</p>	教 育 長
	観光地の新規開発について	<p>1 新規の観光地の開発について、どのように考え、そして、どのように実践しているのか。</p> <p>2 鶴戸神社付近の国有林を、国から払い下げして、観光地として活用する事の要望が出されたと思うがどうなっているのか。</p>	町 長
久保 勇太	地域交通システムの強化に関して	<p>1 町民の皆様、関係各者のご尽力により、ようやくコロナ後を見据えた取組が途に就きつつあるが、交流人口、関係人口呼び込みのためにも、経済活動の核となる地域交通システムの強化が重要になってくる。そのような中、昨今の肝属郡広域 MaaS (Mobility as a Service)協議会、また、おおすみ MMO (Mobility Management Organization) プロジェクトの実証結果はどうであったか。また、実装化に向けた取り組みはどうなっているのか。</p> <p>2 町内山間部の町民の方々、特に高齢者の方々に話を伺うと、日頃の買い物や通院、そして選挙などの用事などにおいても街に出るための交通手段（現行のコミュニティバスの本数）が少なく、大変ご苦労されている状況である。例えば、当実証結果等を活用し、まずは町内を中心とした具体的な地域コミュニティ交通事業（錦江町 MaaS サービス等）を実施する予定はないか。</p> <p>3 総合病院の移転計画が進行しているが、病院の経営を支えるのは、安定した稼働率、つまり安定した来院患者数になる。他方、患者の大きな比重を占める高齢者の方々は、病院へのアクセスが確保できなく大変ご苦労されている状況にある。そこで、病院開業に合わせて将来的な地域内の無人運行も視野に入れた南大隅脱炭素交通システ</p>	町 長

		ム（仮）の実装に向けた本格実証を各省庁の補助事業を活用し近隣町や民間事業者と連携しながら行っていく考えはないか。	
空き家対策・定住施策に関して	<p>1 コロナ後は交流人口、関係人口を拡大し、多くの人々に本町に足を運んでいただき、滞在頂くことで本町のファンになって頂くと共に、その後も</p> <p>2 拠点生活や移住を検討頂き、定住促進を図ることで、本町の人口減少に歯止めをかけ、少子高齢化に伴う厳しい経済情勢下にある本町の担い手になって頂く事が期待される。そのような中、本町の空き家バンクの登録件数は5～6件の状態が続いており、物件も売買物件が多く、Uターン者や移住者にとっては選択肢が限られる状況となっている。どのように改善していく方針か。</p> <p>2 各自治会単位で話を聞いていくと、空き家はどんどん増えていっているものの、家財道具や仏壇がそのままであったりするため、空き家バンクへの登録を躊躇している町民の方が多数見受けられる。例えば、空き家バンクへの登録を条件とした家財一次預かりサービスや処分費の助成等は検討出来ないか。</p> <p>3 町営住宅や公営住宅等が約300戸あり、老朽化している物件は随時更新していく必要があると考えられるが、更新の際、再エネ設備等を導入し、エネルギーの地産地消を促すことで公共住宅の脱炭素化を促すと共に、例えば光熱費を入居後数年間は無料にするなど、移住者入居誘導等の施策は実施出来ないか。</p>	町長	
脱炭素・SDGs事業を促進するための組織づくりに関して	<p>1 脱炭素事業はコロナ後における地域経済回復のグリーンニューディールと位置付けられることから、早期の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」申請検討を行って頂きたいと考えているが、進捗はどうか。</p> <p>2 先進自治体では、SDGs事業に係る地方創生事業や環境行政、エネルギー行政やごみ処理・リサイクル行政等を統括するための担当課が設置されている。他方、本町ではサテライトオフィス事業やバイオマス事業、京セラとの自己託送実証事業など様々な先進的な取組を行っているが、事業のシナジー効果やPR効果、事業運営の合理化を</p>	町長	

		<p>図る観点から、これらの SDGs 関連事業を統括する「みらい環境課（仮）」への再編検討を行ってはどうか。</p> <p>3 SDGs 関連事業は一部に高度の専門性を必要とする業務もあり、担当職員に過大な負担をかける可能性もある。他方、内閣府や総務省等の補助事業でこれらの専門員派遣制度等も用意されている。これらの制度を柔軟に使いながら、再編検討を行って頂き、事業を加速して頂きたいと考えているが、町としての考えはどうか。</p>	
小吉 昭弘	有害鳥獣対策について	<p>昨今、農家の高齢化に伴い中山間地域等においては耕作放棄地が増える中で、鳥獣被害が増大し、就農意欲の低下に拍車がかかり自給率の低下を招いている。この状況を打開するためには、自治体で出来る現在の対策では今後、農地保全、農業振興には限界があると考えます。</p> <p>1 本町の過去5年間の被害状況と捕獲頭数、猟友会のメンバーの推移はどうなっているか。</p> <p>2 4市5町の有志議員が問題提起することとしている有害鳥獣対策について、本町も他自治体と連携し国等に政策の見直しを提言すべきと考えるがどうか。</p>	町長
久本 晃	錦江町役場に設置されている点字ブロックについて	<p>錦江町役場前から道路と交流センターまで点字ブロック、視覚障害者誘導用ブロックが設置されている。正面玄関から設置されているものは埋め込まれているブロックなので破損はないがタイル型は4～5個剥がれた状態である。特に道路側は今年の夏頃からその状態のままだと記憶している。</p> <p>点字ブロックは視力が無い、視力が弱い人が歩きやすい為に設置されているものだと思うが設置した理由と運営・管理方法をお聞かせ願います。</p>	町長
	GIGA スクールへの取り組み、運営・問題点について	<p>GIGA スクールへの取り組みや現在までの運営で出た課題や問題点があればお聞かせください。また国のGIGAスクール構想とは別に町独自の取り組みがあれば合わせてお聞かせ願います。</p> <p>昨年に学習用デジタル端末を利用し、文字で会話するチャット機能が利用できた。それらを使い、言葉によるいじめが行われた事により、児童の尊い命が失われた。</p> <p>問題の起きた学校では2017年度からICT環境整備を本格的に推進し、LTE通信機能を持つデジタル</p>	教育長

端末を小中学校に配備するなど、先進的な取り組みで知られていた。亡くなった児童が通う小学校はGIGAスクール構想推進に指定された3校のモデル校の一つで、ICTを活用した教育が実践されていた。モデル校として取組んでいたにも関わらず、フィルタリング（情報制限）やモニタリング（監視・確認等）が行われていなかった。アカウントのIDは「学校番号+入学年度+通し番号 3桁」、初期パスワードは利用者全て共通。つまり設定を変えていなければ同級生のIDは容易に想像がつき、簡単に他人になりすます事ができていた。

情報開示を求められると「ハッキングされて記録を消されたので判らない。復旧しても同じID、パスワードだから判らない」という回答だったそうです。

IPやログを解析すれば絞り込みは出来るし、複数回やりとりがあったのならその分、解析の精度、成功確率は上がる。

そもそもハッキングされたのならそちらも最優先事項として対策すべき事案である。チャットの書き込みだけではなくシステム全体が破壊される可能性もあるし、不正アクセスに気付かず、秘密裡にバックドアが作られてしまえば新たな犯罪の温床となる未来しかない。

この件はいじめの手段としてGIGAスクールの環境やデジタル端末が使われたが、パソコンやタブレットが悪いわけではなく

悪いのは基本的なセキュリティポリシーさえ守らず、ずさんな運用をした学校の管理者と学校側のいじめへの対応が適切ではない点だと思う。便利なものを導入するもよいがそこに関わる新たな問題への対策、情報モラル教育やネットリテラシーへの取組みも必須である。

例えば包丁の道具としての役割は料理を作るための食材を加工する道具。しかし使い方次第では人を殺める事も可能。便利だからと事前の説明がなく、包丁やガスコンロを触らせれば怪我をする。デジタルなので波及効果や結果が目に見えにくい、簡単な運転操作だけを教えて子供に車を運転させるのときほど差はないものと感じる。事前知識や技術がない分、当然事故を起こす確率は上がる。

デジタルだICTだ、などと言われているが所詮は道具や手段の一つでしかない。手に余るなら無理に使

		<p>う必要はない。</p> <p>本質や使うものの危険性や波及効果が理解できない、リスクアセスメントができないなら積極的に取り入れる必要はない。</p> <p>とは言え、便利なものには変わらないので、取り入れ、推進していくなら当事者である児童たちの声を聞いてより良い運営ができるよう努めて頂きたい。</p>	
指定文化財及び民俗芸能の保存・保護、伝承活動の取組みについて		<p>指定文化財及び民俗芸能の保存・保護、伝承活動の取組みの現状と今後の錦江町の取組みをお聞かせ願います。</p> <p>令和2年度決算では  文化財保護費 予算 711,000 円 決算額 326,490 円  予算執行率 45.92%  文化発掘費 予算 34,000 円 決算額 0 円 予算執行率 0%</p> <p>この2点の予算執行率が低いのは取組む内容や活動する人が少ない、または活動内容が限定されているためではないかと感じる。</p> <p>温故知新という言葉がある。昔の事を知り、紐解く事で新しい知識や見解を導く事です。  これはデータベースを参照し、過去の履歴や記録を解析して新たなシステムを構築するのと同じ事のように思える。</p> <p>情報だけではなく地域に根差したものを見て体験する事は先人達が積み重ねてきた町の財産を活用する事だと思える。</p> <p>今ある指定文化財や民俗芸能の保護活動も大切だがそれだけではなく、過去に営まれていた農業・産業を見直し、価値を見出す事で新たな産業や観光を生む出す事ができると考える。</p> <p>産業は気候の変化など当時のまま再現できない部分もあるかもしれないが、過去に錦江町で出来ていた事である。当時には無い新たな知識や技術を活用し、完全な再現ではなく最善を具現化する活動等に取組み、支援する事で地域の発展や町外との関係人口の増加に繋がると考える。</p>	教育長

落司 道子	学校や公共施設トイレへの生理用品の配備について	1 経済的な事情などで、必要な生理用品が十分に買えない等コロナ禍で「生理の貧困」が可視化され問題となっている。国においては、「子供・若者育成支援推進大綱」の中で、「学校での生理用品を必要とする児童・生徒への対応を進めること」を掲げている。現在、各学校で生理用品が必要になった児童・生徒に対して、どのような対応をしているのか。	教 育 長
		2 各自治体で、生理用品の無料配布や学校や高校施設の個室トイレへの配備等といった取組がみられる。本町においても、学校や公共施設トイレへの生理用品の配備を実施する考えはないか。	町 長
		3 生理用品の正しい使用方法、身体への影響を伝え、自分の体を大切にして自分らしい選択ができることを学ぶ機会や相談体制は十分であるか。	教 育 長